

PAT-NO: JP405346764A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05346764 A  
TITLE: LABEL AND ITS PRODUCTION  
PUBN-DATE: December 27, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SAKATA, JUNSUKE	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KK SAKATA SANGYO N/A	

APPL-NO: JP04155133  
APPL-DATE: June 15, 1992

INT-CL (IPC): G09F003/02 , B31D001/02 , G09F003/10

US-CL-CURRENT: 40/638 , 40/FOR.102

ABSTRACT:

PURPOSE: To produce the label which is formed with a printing part of designs, etc., and a tacky adhesive on the same surface in such a manner that the tacky adhesive layer side surface of the label can be provided with a printing part without

subjecting the tacky adhesive on the label to printing.

CONSTITUTION: Release backing paper 4 is constituted by forming its one surface as a release surface and the other surface as a printable printing surface, sticking the release surface to a tacky adhesive layer 2 of paper for tacky adhesion and providing the printing surface of the release backing paper 4 with the printing part 40. A blanking line 41 is set at the peripheral edge of this printing part 40 and on the inner peripheral side of the contour of the label. Only the release backing paper 4 is blanked along this blanking line 41 and an outer peripheral blanking line 42 enclosing the outer peripheral area of the blanking line 41 is provided in this outer peripheral area. Both the release backing paper 4 and the paper for tacky adhesion are blanked along the outer peripheral blanking line 42. The outer peripheral blanking line 42 is previously provided with at least one very small discontinuous parts. A single label body 1 having its peripheral edge at the outer peripheral blanking line 42 is taken out by cutting the discontinuous part.

COPYRIGHT: (C)1993, JPO&Japio

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-346764

(43)公開日 平成 5 年(1993)12月27日

(51)Int.Cl. <sup>4</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 F 3/02		P 7028-5G		
B 3 1 D 1/02		8513-3E		
G 0 9 F 3/10		H 7028-5G		

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 5 頁)

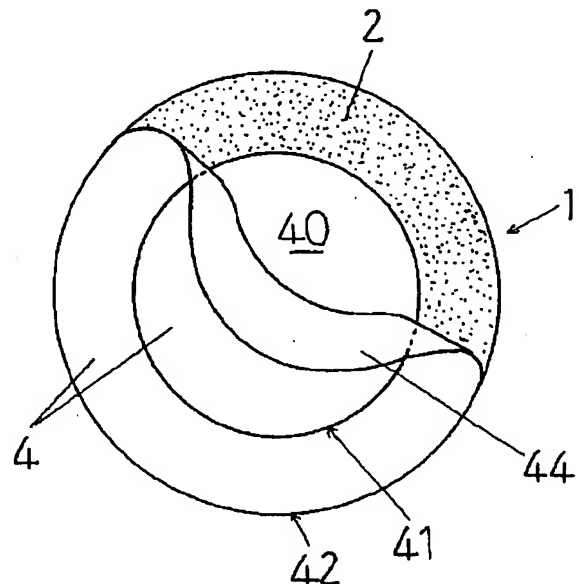
(21)出願番号	特願平4-155133	(71)出願人	592074625 株式会社坂田産業 大阪府大阪市天王寺区空清町 3 番地の 2
(22)出願日	平成 4 年(1992) 6 月15日	(72)発明者	坂田 純輔 大阪市天王寺区空清町 3 番地の 2 株式会 社坂田産業内
		(74)代理人	弁理士 坂上 好博

(54)【発明の名称】 ラベル及びその製造方法

(57)【要約】

【目的】図柄等の印刷部と粘着剤とが同じ面に形成されるラベルに関するものであり、ラベルの粘着剤上に印刷を施すことなく、ラベルの粘着剤層側の面に印刷部を設ける。

【構成】剥離台紙(4) は一面を剥離面とするとともに他面を印刷可能な印刷面とし、前記剥離面を粘着用紙(10)の粘着剤層(2) に貼着させるとともに、該剥離台紙(4)の印刷面に印刷部(40)を設ける。この印刷部(40)の周縁部で且ラベル輪郭の内周側に打抜き線(41)を設定し、この打抜き線(41)に沿って剥離台紙(4)のみを打抜くとともに該打抜き線(41)の外周域にこれを包囲する外周打抜き線(42)を設定し、該外周打抜き線(42)に沿って剥離台紙(4)と粘着用紙(10)とを共に打抜く。この時、外周打抜き線(42)には少なくとも一つの微少な不連続部(43)を具備させておく。該不連続部(43)を切断することにより、前記外周打抜き線(42)が周縁となるラベル単体(1)が取出せる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 一面に粘着剤を塗布してなる粘着剤層(2)が形成されている粘着用紙(10)と、該粘着用紙(10)の前記粘着剤層(2)を被覆する剥離台紙(4)とからなり、粘着剤層(2)側の面に図柄等の印刷部(40)が形成される形式のラベルにおいて、剥離台紙(4)は一面を剥離面とするとともに他面を印刷可能な印刷面とし、前記剥離面を粘着用紙(10)の粘着剤層(2)に貼着させ、該剥離台紙(4)の前記印刷面に印刷部(40)を設け、該印刷部(40)の周縁部で且ラベル輪郭の内周側に、剥離台紙(4)のみを打抜いてなる打抜き線(41)を形成したラベル。

【請求項2】 粘着用紙(10)の粘着剤層(2)を、一面が剥離面で且他面が印刷可能な印刷面である剥離台紙(4)の該剥離面で被覆し、該剥離台紙(4)の印刷面に所定の図柄を印刷することにより印刷部(40)を設ける工程と、この印刷部(40)の周縁部全周にわたる打抜き線(41)に沿って剥離台紙(4)のみを打抜く工程と、前記打抜き線(41)の外周域に、これを包囲し且少なくとも一つの微小な不連続部(43)を具備する外周打抜き線(42)を設け、該外周打抜き線(42)に沿って剥離台紙(4)及び粘着用紙(10)を同時に打抜く工程を具備するラベルの製造方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野及び発明の概要】本発明は、ラベル、特に、印刷が施されているラベルの表面側に粘着部が形成されており、ガラス窓等の透明体に内側から貼着させる形式のラベルとその製造方法に関するものである。

## 【0002】

【従来技術及びその問題点】自動車や電車又は店舗等のガラス窓に、外側から見えるようにラベルを貼着させる場合は、表面に図柄が印刷されており裏面に粘着部が形成されている通常のラベルを、該ガラス窓の外側(屋外面)に貼着しては、天候や気温等の外的条件によって剥れ易く色も褪せ易い。よって、このような場合は、印刷が施されているラベルの表面側に粘着部が形成されている形式のものをガラス窓等の内側(屋内面)から貼着させる。これにより、該ガラス窓等の透明体を介して、外的条件の心配なく、ラベルの表面の印刷が外側(屋外)から透視できるのである。

【0003】上述したような、印刷面と同じ面に粘着部が形成されるラベルとして、図4に示す次のような工程で製作されるものがある。裏面に粘着剤が塗布されている連続する粘着用紙(10)の粘着剤層(2)を剥離台紙(4)で被覆したタック紙のロール体から、該剥離台紙(4)を上にして該タック紙を巻き解いて引出し、該剥離台紙(4)を粘着用紙(10)から一旦剥離させて、該粘着用紙(10)の上面側に粘着剤層(2)を露出させる。この粘着剤層(2)の上に印刷工程(61)によりラベルの図柄を印刷する。

【0004】その後、粘着用紙(10)の粘着剤層(2)に再度剥離台紙(4)を被覆させ、前記印刷を施した印刷部を含む所定範囲を、粘着用紙(10)のみ或は粘着用紙(10)と剥離台紙(4)を同時に切断すれば、剥離台紙(4)で被覆された粘着面が印刷面となったラベルが完成する。このものでは、ラベルの粘着面に図柄が印刷されているので、例えば透明なガラス窓の内側にラベルを貼着させれば、該ガラス窓を通して、外側から該図柄を見ることができる。しかしながら、このものでは、粘着面に印刷を施すため、印刷処理に問題がある上に、図柄が不鮮明になってしまう不都合がある。又、製造工程においても、一旦粘着用紙(10)から剥離台紙(4)を剥離させて印刷した後、再度貼着させなければならず、作業性が悪いという問題もある。

\*請求項1の発明について、

## 【0005】

【技術的課題】本発明は、このような『一面に粘着剤を塗布してなる粘着剤層(2)が形成されている粘着用紙(10)と、該粘着用紙(10)の前記粘着剤層(2)を被覆する剥離台紙(4)とからなり、粘着剤層(2)側の面に図柄等の印刷部(40)が形成される形式のラベル』において、特殊なインクや特殊な印刷装置を用いなくとも粘着剤層(2)と同じ面に鮮明な図柄が設けられるようにすることをその技術的課題とする。

## 【0006】

【技術的手段】上記課題を解決するための本発明の技術的手段は、『剥離台紙(4)は一面を剥離面とするとともに他面を印刷可能な印刷面とし、前記剥離面を粘着用紙(10)の粘着剤層(2)に貼着させ、該剥離台紙(4)の前記印刷面に印刷部(40)を設け、該印刷部(40)の周縁部で且ラベル輪郭の内周側に、剥離台紙(4)のみを打抜いてなる打抜き線(41)を形成した』ことである。

## 【0007】

【作用】上記技術的手段は次のように作用する。剥離台紙(4)の一面を剥離面とし、他面を印刷面とするとともに、該剥離面を粘着用紙(10)の粘着剤層(2)に貼着させたから、剥離台紙(4)は粘着用紙(10)から剥離自在であるとともに、該粘着剤層(2)を剥離台紙(4)で被覆させた状態の粘着用紙(10)の粘着剤層(2)側の面には剥離台紙(4)の印刷面が現れることとなる。

【0008】そして、この剥離台紙(4)の印刷面に印刷部(40)を設けるとともに該印刷部(40)の周縁部で且ラベルの輪郭の内周側に打抜き線(41)を設け、該打抜き線(41)に沿って剥離台紙(4)のみを打抜いたから、粘着用紙(10)の粘着剤層(2)側の面において、剥離台紙(4)は、打抜き線(41)の内部とその外周部とに分割されることとなり、該打抜き線(41)の内部には、印刷部(40)が形成されるものとなる。

【0009】剥離台紙(4)は、前記したように、粘着用紙(10)の粘着剤層(2)に対して剥離自在であるから、剥

離台紙(4)のうち、打抜き線(41)の外周部域を粘着用紙(10)から剥離させれば、印刷部(40)の外周域に粘着剤層(2)が露出することとなり、すなわち、粘着用紙(10)の粘着剤層(2)側の面に印刷部(40)が設けられるラベルが形成されることとなる。

#### 【0010】

【効果】粘着用紙(10)の粘着剤層(2)を被覆する剥離台紙(4)の印刷面に印刷部(40)を設け、該印刷部(40)の外周部域に粘着剤層(2)を露出させることにより、粘着用紙(10)の粘着剤層(2)側の面に印刷部(40)が設けられて

\*請求項2の発明について、

請求項2の発明のものは、請求項1の発明のラベルを合理的に生産できる製造方法に関するものであり、その為に講じた技術的手段は、『粘着用紙(10)の粘着剤層(2)を、一面が剥離面で且他面が印刷可能な印刷面である剥離台紙(4)の該剥離面で被覆し、該剥離台紙(4)の印刷面に所定の図柄を印刷することにより印刷部(40)を設ける工程と、この印刷部(40)の周縁部全周にわたる打抜き線(41)に沿って剥離台紙(4)のみを打抜く工程と、前記打抜き線(41)の外周域に、これを包囲し且少なくとも一つの微少な不連続部(43)を具備する外周打抜き線(42)を設け、該外周打抜き線(42)に沿って剥離台紙(4)及び粘着用紙(10)を同時に打抜く工程とを具備させた』ことである。

#### 【0011】

【作用】一面が剥離面で且他面が印刷可能な印刷面である剥離台紙(4)の該剥離面で、粘着用紙(10)の粘着剤層(2)全域を被覆させたから、粘着用紙(10)の粘着剤層(2)側の面には、剥離台紙(4)の印刷面が現れることとなる。この剥離台紙(4)の印刷面に所定の印刷を施して印刷部(40)を設けるとともにその印刷部(40)の周縁に設定した打抜き線(41)に沿って剥離台紙(4)のみを打抜いたことから、粘着用紙(10)の粘着剤層(2)側の面には、剥離台紙(4)が、該打抜き線(41)で囲まれた印刷部(40)とその外周域とに分割されて貼着する態様となる。

【0012】そして、この打抜き線(41)の外周域にこれを包囲する外周打抜き線(42)を設定し、これに沿って剥離台紙(4)及び粘着用紙(10)を同時に打抜くことにより、粘着用紙(10)内には、外周打抜き線(42)がラベル輪郭となるラベル単体が形成されることとなり、このラベル単体の粘着剤層(2)は、打抜き線(41)で囲まれた印刷部(40)とその外周域とに分割された剥離台紙(4)で被覆されることとなる。

【0013】該外周打抜き線(42)には少なくとも一つの微少な不連続部(43)を具備させるようにしたから、打抜き後においても、該ラベルは粘着用紙(10)から抜け落ちることはなく、又、該不連続部(43)を切断することによ

って該ラベル単体は容易に粘着用紙(10)から切離することができる。尚、前記打抜き線(41)に沿って剥離台紙(4)のみを打抜く工程と、外周打抜き線(42)に沿って該剥離台紙(4)と粘着用紙(10)とを共に打抜く工程とは同時に設けられても良い。

#### 【0014】

【効果】剥離台紙(4)を一旦粘着用紙(10)から剥離させることなく、粘着用紙(10)の粘着剤層(2)側の面に印刷部(40)が形成される態様のラベルが合理的に生産できることとなり、その生産性が向上する。

#### 【0015】

【実施例】次に、上記した本発明の実施例を図面に従って詳述する。本発明の実施例では、図1に示すように、円形のラベル単体の中央に円形の印刷部(40)が同心円状に配設され、該印刷部(40)の外周域に環状の粘着剤層(2)が設けられるとともに該粘着剤層(2)が環状のスクラップ部(44)によって被覆せしめられてなる構成のラベルを製作するものである。

【0016】このようなラベルを製作するには、まず、一面全域に粘着剤を塗布してなる粘着剤層(2)が形成されている連続する粘着用紙(10)の該粘着剤層(2)を、一面が剥離面で他面が印刷可能な印刷面とした剥離台紙(4)の該剥離面で被覆させてなる带状用紙(S)を、図2に示すように、ロール状に巻き取って第1ロール体(51)を構成する。

【0017】この第1ロール体(51)から、該剥離台紙(4)の印刷面が上になるように該带状用紙(S)を巻き解いて引出すとともに間欠移送させ、印刷工程(6)により、該剥離台紙(4)の印刷面に所定の図柄を順に印刷して印刷部(40)を一定間隔毎に並列させる。この印刷部(40)を環状に包囲する打抜き線(41)を設定し、次の第1打抜き工程(7)により、該打抜き線(41)に沿って剥離台紙(4)のみを打抜く。

【0018】そして、さらに設けた第2打抜き工程(71)で、図2及び図3に示すように、前記第1打抜き工程(7)で打抜いた環状の打抜き線(41)よりも大きな同心円状に設けた外周打抜き線(42)に沿って前記剥離台紙(4)と粘着用紙(10)とを同時に打抜く。これにより、この外周打抜き線(42)が周縁となり、中央部に印刷部(40)が設けられ、該印刷部(40)を包囲する打抜き線(41)と該外周打抜き線(42)との間に環状のスクラップ部(44)が貼着するラベル単体(1)が形成されることとなる。尚、前記外周打抜き線(42)において対向する位置となる二ヶ所又は三ヶ所に微少な不連続部(43)を設けておけば、ラベル単体(1)は、带状用紙(S)から抜け落ちることなく、巻き取りロール(54)に巻き取られることとなる。

【0019】前記带状用紙(S)は、予め、駆動ドラム(5)に上から巻き付けられており、該駆動ドラム(5)と共に回転する押さえロール(50)で、該带状用紙(S)上から押さえ付けながら、該駆動ドラム(5)を駆動させる。

6

第1打抜き工程(7)の工程に第2打抜き工程(71)で使用する刃を用意しておけば良い。又、本発明のラベル単体(1)は、ガラス窓等の透明体に貼着させて使用するものであるから、印刷部(40)の周辺部に現れる粘着剤層(2)を具備する粘着用紙(10)は透明フィルムであることが望ましい。

【図面の簡単な説明】

【図2】その製造工程の説明図。

【図4】従来のラベルの製造工程の説明図。

【符号の説明】

(2) . . . 粘着剤層

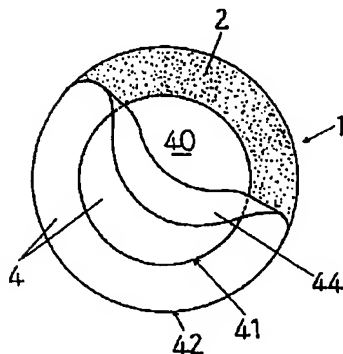
(40) . . . 印刷部

(41) . . . 打抜き線

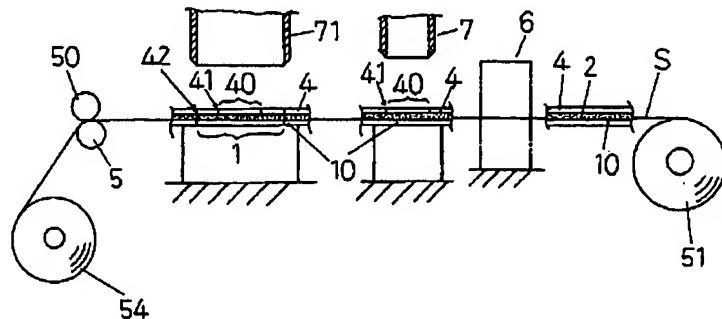
(42) . . . 外周打抜き線

(43) . . . 不連続部

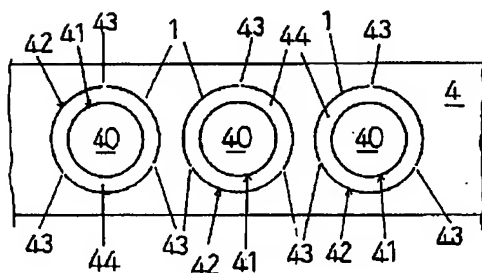
【図 1】



【図2】



【図3】



【図4】

